

○井上（英）委員

それから、ちょっと時間がなくなってきましたんですけども、リニア中央新幹線について、同郷の北川副大臣もおられますので、お聞きをしたいと思うんです。

やはりリニア中央新幹線は、我が国の新たな大動脈になるんじゃないか。東京—大阪間の時間距離を飛躍的に縮め、六十五分ですかになる。首都圏、中部、関西を一つの経済圏とすることで、人口減少で収縮する日本経済に活力を与えて世界との競争力を高める極めて重要な社会基盤、インフラだというふうに我々は考えております。

そしてまた、一方で、今、我々大阪は、統合型リゾートのIRも含めて非常に積極的に取り組んでいます。

そういった中で、現実には、今言われているのは、東京から名古屋というふうに言われておりますけれども、やはりそれを大阪まで一挙に開通するという強い思いを我々は持っているんですけども、改めて北川副大臣の決意を聞かせていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○北川副大臣 井上委員には、大阪の出身でございますし、私もそうでございます。今、リニアについていろいろ所見を述べていただきました。

この件につきましては、もう井上委員と私と全く同じ考えでございます。やはり、やるのであれば東京—大阪、一挙に開通した方が、国土軸という問題から考え、またJRそのものの採算から考えましても、いろいろな面から考えても、その方がいいのになという思いはあります。これはもう井上委員と全く同じ考え方でございます。

しかし一方では、この事業というのは、やはりJR東海が民間企業として経営の自由や投資の自主性というものを確保しながら貫徹する、そういう大原則があるわけでありまして、また、全額自己負担で整備を行う、こういうこともございます。そういう前提で建設の指示をした、こういうことであります。

私も予算委員会でこの質問を太田大臣に質問したことがあるんですけども、名古屋までの開通と大阪までの開通と、余りにも期間が長過ぎるじゃないかというようなことも感じました。私は、個人的に、今後の課題として、この期間をできるだけ短くするかというようなことができないのか、JR東海の方にも機会があればまた働きかけていきたいなというような思いがいたしております。

以上でございます。

○井上（英）委員 ぜひ頑張ってくださいと思いますので、よろしく願いいたします。

どうもありがとうございました。